

尼崎社会保障推進協議会

2019年定期総会と講演会のご案内

尼崎社保協では定期総会を下記の内容で開催します。

貧困が深刻さを増しています。医療、介護、年金、障害者福祉、生活保護、教育、子育てなど様々な分野で、制度が毎年改悪され、不安と困難が広がっています。10月からは消費税が10%に改悪され、ますます私たちの暮らしに重くのしかかっています。

憲法25条が掲げる生存権を保障し、人々の生活の向上を図るのは国の義務です。誰もが安心して生き続けることのできる社会を実現するために、国、地方自治体に対する社会保障制度拡充の運動を進めましょう！

**参加費無料
どなたでも参加できます**

日時 12月7日(土)

場所 尼崎市中小企業センター402号室

総会 午後1時30分より

記念講演 午後2時30分より

「誤解だらけの生活保護」

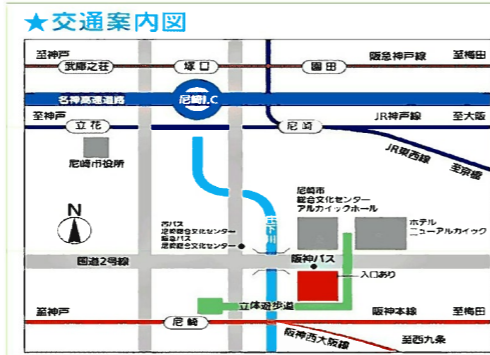
講師 原昌平さん



ジャーナリスト、元読売新聞大阪本社編集委員、精神保健福祉士。1996年以降、医療と社会保障を中心に取材。ホームレス問題のルポで2000年に新聞労連大賞、ネットのヨミドクターに連載した「貧困と生活保護」シリーズで2016年に貧困ジャーナリズム大賞特別賞。2019年9月退社。大阪府立大学・立命館大学客員研究員、関西学院大学・関西看護医療大学非常勤講師。著書に「医療費で損しない46の方法」(中公新書ラクレ)、共著に「無料低額診療事業のすべて」(クリエイツかもがわ)など。

尼崎社会保障推進協議会

南武庫之荘 11-12-1 尼崎医療生協内・事務局 小林健一 TEL06-4962-4920



兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

406号

2019年11月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第28回日常診療経験交流会

多職種が参加して経験を交流

尼崎支部から二つの演題発表



分科会で報告する滝本桂子先生(左下)と、石田千絵氏(右上)
会場では職種を超えた活発な意見交換が行われた

第28回日常診療経験交流会が10月27日、「日常診療の原動力～この10年、これからの10年～(変容する社会)」をメインテーマに、神戸市産業振興センターで開催され、会員、スタッフなど208人が参加した。大阪大学大学院・医学系研究科・病理学教授の仲野徹

先生による「(あまり)病気をしない暮らしーがんは『運』であるー」をテーマにした特別講演のほか、救急フェスタやポスターセッションなどが行われ、幅広いテーマで交流が行われた(兵庫保険医新聞11/15付で詳細既報)。

(2面につづく)

(1面のつづき)

尼崎支部から、薬局リベルファーマシーの滝本桂子先生が「薬剤師ケアマネ奮闘記」～地域に根ざした薬局薬剤師だからできること～、野村医院の受付・広報担当の石田千絵

氏が「院内交流から地域交流へ～創刊31周年をむかえた『のむらだより』～」をそれぞれ報告した。

第549回幹事会だより

10月18日(金) 於:小松

○尼崎支部の会員数

10/18 現在 医科376人、歯科165人

○医療をめぐる情勢と運動対策

医療情勢、地域医療を考える懇談会、文化企画ウォーク開催、当面の支部企画、などについて討議、意見交換した。

○次回日程

11/22(金) 20:00～ 中華料理 かぼちゃ(阪急武庫之荘駅から徒歩10分)

診療報酬引き上げを求める

会員FAX署名にご協力ください

まだ間に合います!!

協会は診療報酬の引き上げと患者窓口負担の軽減を求める医師・歯科医師署名に取り組んでいます。集まった署名は、11月28日に、厚労省や財務省など関係機関、国会議員に提出する予定です。

ご署名記入欄は、ゴム印の押印でも結構ですので、ご返信がまだの先生方は、是非ともFAX返信をいただきますよう、宜しく申し上げます。お手元がない場合は、政策宣伝部(Tel:078-393-1807)までご連絡ください。署名用紙をFAX送信させていただきます。返信はFAX078-393-1802まで。

2019年 月 日

**診療報酬の引き上げと患者窓口負担の軽減を求める
医師・歯科医師要請署名**

診療報酬は、国の医療保険で支えられる医療の内容を規定するとともに、医師・歯科医師をはじめとする医療従事者の給与、医療施設・設備の維持、発展に役立っています。医療の質・安全の確保、より良い医療を提供していくためには、診療報酬の引き上げが不可欠です。

しかし、2002～08年にわたる4回のマイナス改定、2014～18年の3回のマイナス改定で、引き上げ幅は累計10%以上の引き下げ、増減差を大きく超過しています。加えて、「働き方改革」に伴う人件費増や物価上昇への対応等を考慮すると、医療報酬改定では10%以上の大幅な引き上げが必要と見られます。

全国保険医団体連合会が2018年に会社役員報酬を対象に実施した調査では、約4割が「患者さんの経済的負担を軽減する」を最優先課題としていました。中でも最も急務は「患者さんに受診抑制を強いてはならない」などの患者負担軽減を挙げ、これ以上の患者負担増、給付削減は患者さんの受診抑制を深刻化させ、国民の健康、そして命を脅かします。是非とも医師・歯科医師は、以下の事項を要請いたします。

記

一、国民に安全、安心で、必要な医療を提供するための、基本診療料(診・問診料、入院基本料など)と基礎的技術料を中心に、診療報酬を10%以上引き上げること

一、新たな患者負担増の計画は中止し、患者窓口負担を軽減すること

以上

私の一筆

姓 名: _____
 医師機関名: _____
 氏 名: _____

◆支部担当事務局が交代しました。(2019年10月～)
「お世話になりました」 退任: 境・湯浅(西宮・芦屋支部担当へ)
「よろしくご指導下さい」 就任: 沖野(尼崎支部主担当) 留任: 長澤、石本

文化企画 尼崎名所めぐり

歴史文化の町 見どころ満載の尼崎



国内外の貯金箱にまつわる解説を聞く参加者



爽やかな秋晴れの中、尼崎城を背に記念撮影

尼崎支部は、11月2日に「ふるさとの見どころ再発見!! 尼崎名所めぐり」を開催。会員ら7人が、世界の貯金箱博物館(旧尼崎信用金庫本部事務所)、尼崎信用金庫記念館、ヒノデ阿免本舗を經由し、今年3月から一般公開となった尼崎城を目指して、阪神尼崎駅南側周辺の歴史にゆかりのあるスポットを回った。コースの途中では、旧尼崎市立開明小学校跡地に残る、太平洋戦争末期の機銃掃射による弾痕が残る塀も見学した。

貯金箱博物館では来館記念に、宝珠をかたどった貯金箱をもらったり、手作りの古式製法にこだわったヒノデ阿免本舗の水飴を買うなど楽しんだ。次号で参加者からの感想文を掲載予定。

支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、 ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,500人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,700人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。

